

令和3年度 須田小学校 グランドデザイン

学校教育目標 **進んで 心やからだを すこやかにする子**

健やかな
体づくり

「子供の持ち味を最大限に生かす」学校づくりを目指す

＜重点目標＞

- ◇ 認め合う雰囲気の中で、学級・学校生活を楽しむ子
- ◇ 意欲的に学習に取り組み、学んだことを身に付け、それを活用する子
- ◇ だれとでも分け隔てなく接し、自分を表現できる子
- ◇ 自分の体をよく知り、進んで健康づくりをする子
- ◇ 加茂市指定研究に向けた中学校との連携と 150周年に向けた取組の推進

対話のあ
る学び

体幹力の育成

取組 体育や運動が好きと答える子供を多くし、運動能力を高め、進んで運動する習慣を身に付けさせるます

- 基本運動 「**るるぶる**」運動
握る/**投げる**/**跳ぶ**/**曲げる**
- 全校体力向上【がんばりタイム】の実施
- なわ跳び運動の一年間の継続
- 握力・投力・跳力、持久力の向上に重点を置いた体育授業の工夫
- 運動の生活化を図る取組の推進 … なわ跳び運動の一年間の継続実施や準備運動の工夫
- オリンピック・パラリンピック教育の継続

目標 運動能力を高め、進んで運動する子供

各教科で必要な資質、能力の確実な育成

取組 学習指導要領の「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」の内容について、児童に確実に身に付けさせます

「技」（どうしたら解けるのか、できるのか、考えられるのかなど）を意識した授業

- 授業のめあての明示
- 対話スキルの段階的な指導（教師と子供→子供同士）
対話スキル 言葉で関わる力

根拠/**例示**/**一般化**

- ICTの積極的な活用（協働的な学習自分の考えを可視化する思考ツールとして）
- 教科の特性に応じ指導マニュアルの作成活用（分類する・比較する）
- 単元テスト等での白紙回答をなくす
- 「主体的、対話的で深い学び」による授業改善（国語と道徳を中心とした授業研究）

目標 「技」（どうしたら解けるのか、できるのか、考えられるのかなど）を習得し、活用する子供

活用力の育成

取組 活用する力の育成を進めます

学年に関係なく既に学んだことを組み合わせ、自力で問題を解決する活動を授業に位置付け

- 教科書の課題を活用した発展問題（算数/理科）
- 複数の根拠で考えをまとめる活動（国語/社会）
圧倒的な読書量を確保する指導（多読・再読指導）

目標 身に付けた知識や考え方を組み合わせ、問題を解き進める子供

時間編集力の育成

取組 時間の可視化を進めます

帰宅後のスキマ時間の使い方に各種指導を組み合わせる

- 家庭読書（図書指導）・家庭学習（学習指導）
- メディア時間の管理（保健指導）
- 夜の歯磨きの徹底（家庭と連携）

重点活動 スキマ時間の活用

復習する/**読む**/**楽しむ**/**磨く**

※生活習慣実態結果から重点化

小中連携【元気アップ】の実施

目標 見通しをもって時間を使い、健康な生活をする子供

家庭、中
学校との
連携

「ひと・もの・こと」教育環境の整備

●「ひと」環境の整備

- 「須田の人材」（人材データ）
- 「えがおでぺこり」（全校交通安全運動）

●「もの」環境の整備

- 須田小「本の海」図書館の整備
- 体力向上スペースの改善
- 「ピオトープ」（自然観察スペース）の整備

●「こと」環境の整備

- 「ふるさと・須田」学習（須田dy科）

1、2年：だいすき すてき すだたんけん 3年：宣伝します！須田ブランド梨

4年：須田を豊かに！信濃川とともに 5年：発信！これからの須田米づくり 6年：対話の力！加茂軍議から知恵探し

地域を愛する心の育成

取組 「ふるさと・須田」のよさを知り、楽しんだり、役に立つことをしたりする学習を進めます

各教科学習で学んだことを生かし発展させる学習を全学年で実施

- 「ふるさと・須田」学習（須田dy科）
- 地域奉仕活動

目標 地域から学んだことを これからの自分や地域に生かす子供

地域との
連携

命を守る教育活動の充実

- 食物アレルギー対応 ・心肺蘇生法 ・防災プログラムとつなげた避難訓練の実施 ・自転車安全教室
- いじめ、不登校等への対応（全教職員の報告・連絡・相談・確認の即時対応を徹底 共感的な人間関係を育む「呼応のスキル」指導等）
- 新型コロナウイルス感染症防止に向けた取組の継続（新しい生活様式の実践） 等